

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010100		事業の種類	2				
年度	2	事務事業名	遊歩道整備事業		予算事業名	遊歩道整備事業		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課				
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	長治 宏幸		担当者名	松下 亮太	
取組み事項		森林を豊かに育てる			実施計画への記載	有		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		遊歩道等改修工事								
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	遊歩道を整備し市民が利用するように								

2 事業の概要 Do

実施の概要		清掃、除草委託業務				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	業務委託	箇所	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.280	0.164	59	0.164	100			
	臨時職員		0.004	-	0.004	100			
支出内訳	人件費	2,451,260	1,596,869	65	1,492,211	93			
	事業費	2,737,610	1,520,360	56	2,829,180	186			
	合計	5,188,870	3,117,229	60	4,321,391	139			
財源内訳	国庫支出金			-	0	-			
	県支出金			-	0	-			
	市債			-	0	-			
	その他			-	0	-			
	一般財源	5,188,870	3,117,229	60	4,321,391	139			
合計	5,188,870	3,117,229	60	4,321,391	139				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		業務委託箇所							
指標説明(式)		業務委託箇所							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
箇所	目標	2	2	100.0	3	150.0		66.7	
	実績	2	2	100.0	3	150.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標は達成している。	4
効率性	コストの節減	草刈回数や施工延長を見直し実施している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	遊歩道が老朽化しており、補修等が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	経済的な方法で、簡易補修を行い、安全な利用を確保する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010200		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	林道維持修繕事業		予算事業名	林道維持修繕事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)	美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸		担当者名	松下 亮太
取組み事項	森林を豊かに育てる		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		林道維持修繕事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	林道を整備し山林所有者及び市民が利用するように					

2 事業の概要 Do

実施の概要		林道改修、舗装				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	工事件数	件数	2	1	1	
	草刈	件数	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.084	0.048	57	0.048	100	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	994,196	739,629	74	706,891	96	
	事業費	1,037,880	1,016,400	98	1,035,760	102	
	合計	2,032,076	1,756,029	86	1,742,651	99	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	
	県支出金			-	0	-	
	市債			-	0	-	
	その他			-	0	-	
	一般財源	2,032,076	1,756,029	86	1,742,651	99	
合計	2,032,076	1,756,029	86	1,742,651	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託、工事件数						
指標説明(式)		委託、工事件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件数	目標	3	3	100.0	3	100.0	66.7	
	実績	3	2	66.7	2	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	林道の安全な利用が来ている。	3
効率性	コストの節減	整備箇所において、経済的な方策を取る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	林道施設の老朽化が顕著である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	経済的な方法で、簡易補修を行い、安全な利用を確保する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	森林整備事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸	担当者名	松下 亮太
取組み事項		森林を豊かに育てる		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		県民みどり税関連事業					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	高齢人工林					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢人工林の若返りを図り、保水能力の高い森林を造成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		針葉樹林と広葉樹林の混交整備 計画調査面積A=30ha				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	計画調査設計	ha				
	作業道設置	m	1593			
	広葉樹植栽	ha				

3 投入資源

		会計区分						事業費単位:円
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.104	0.108	104	0.148	137		
	臨時職員		0.004	-	0.004	100		
支出内訳	人件費	1,142,876	0	0	1,383,891	-		
	事業費			-		-		
	合計	1,142,876	0	0	1,383,891	-		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	22,740,000		0		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	-21,597,124	0	0	1,383,891	-		
合計	1,142,876	0	0	1,383,891	-			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数						
指標説明(式)		補助件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標	1	1	100.0	0	0.0	-	
	実績	1	1	100.0	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	実施事業者が森林整備に精通した森林組合となっている。	
効率性	コストの節減	県民みどり税を100%活用した補助事業	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	有害鳥獣対策事業		予算事業名	有害鳥獣対策事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		田園を美しく守る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	鹿、猪などの有害鳥獣対策を行うことで農地の荒廃を防ぎ、田園風景や自然環境を美しく保全していく。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		近年、野生動物の農作物被害は営農意欲の低下を招くなど大きな問題となっているため、兵庫県猟友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	有害鳥獣駆除活動日数(銃)	回/年	32	40	27	
	防護柵の機能向上	km	2.1	1	1.7	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.476	0.440	92	0.499	113		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	3,908,324	3,626,309	93	3,749,150	103		
	事業費	7,370,605	6,607,494	90	8,794,226	133		
	合計	11,278,929	10,233,803	91	12,543,376	123		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	1,823,000	2,099,000	115	2,577,000	123		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	9,455,929	8,134,803	86	9,966,376	123		
	合計	11,278,929	10,233,803	91	12,543,376	123		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		鳥獣の捕獲頭数(有害捕獲活動期間)						
指標説明(式)		猪・鹿の捕獲頭数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
頭	目標	320	240	75.0	300	125.0	100.0	
	実績	297	328	110.4	442	134.8		
指標名2		農作物の被害金額						
指標説明(式)		出荷農家における被害金額(相生市鳥獣被害防止計画において、被害金額について、現状値をH29、目標年度をR3として軽減目標を設定)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	2,041,000	1,876,000	91.9	1,710,000	91.2		
	実績	2,992,000	2,440,000	81.6	2,023,000	82.9		

【効率性】

指標名1		被害額の割合							
指標説明(式)		被害額/事業総額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	27.8	28.7	103.2	19.8	69.0			
	実績	40.6	36.9	90.9	23.0	62.3			

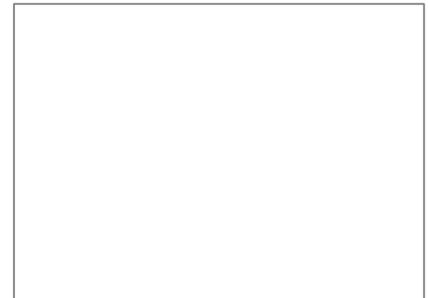
指標名2		捕獲有害鳥獣一頭あたりの費用							
指標説明(式)		捕獲に係る費用/有害捕獲活動期間の捕獲頭数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	17,375	22,875	131.7	18,300	80.0			
	実績	15,495	15,421	99.5	13,143	85.2			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	被害総額は減少傾向にあるが、今後も事業を継続して更に農作物被害を少なくする必要がある。	4
	市民サービス	捕獲頭数の増加により、農産物の被害金額(出荷農家)は減少傾向である。	
効率性	負担割合の適正化	県委託料・地元負担金をもとに事業を適正に執行している。	4
	手段の最適性	猟友会及び農会長等と協力し農作物被害等の防止を効率的に実施した	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	狩猟免許所持者の高齢化に伴い、事業を効果的に継続するため、有資格者の育成を早期に図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	鳥獣被害防止計画の見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	環境保全型農業直接支払事業		予算事業名	環境保全型農業直接支払事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		田園を美しく守る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	取り組み農家数	戸	3	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員			-		-	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	369,740	374,709	101	370,920	99	
	事業費	2,095,460	1,967,360	94	2,228,520	113	
	合計	2,465,200	2,342,069	95	2,599,440	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	1,571,595	1,475,520	94	1,671,390	113	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	893,605	866,549	97	928,050	107	
合計	2,465,200	2,342,069	95	2,599,440	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家数						
指標説明(式)		環境保全効果の高い営農活動に取り組む農家数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
戸	目標	3	3	100.0	3	100.0	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請条件である兵庫県認証エコファーマーの資格をもっている3名の取組みを進めることができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	有機農業等の取組みの推進により、地域の環境保全の向上がされ、水質汚染の防止が図れた。	
効率性	手段の最適性	有機農業の取組については、労力や採算が悪いなど営農に影響があるため、JA、県と連携してよりよい栽培方法を取り入れる必要があった。	4
	執行体制の効率性	環境保全の農業を推進することは、相生市においてブランド化が期待できるのでJA、県とも連携して普及する必要があった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	事業拡大に向けた地域での連携体制が希薄である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	ブランド化に向け、JA・県・普及センターとの連携許可を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301030100		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	自然公園管理事業		予算事業名	自然公園管理事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
		施策名(中)	美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	宇久勝志 担当者名 大角潤矢	
		取組み事項	相生湾に親しみ、活かす		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		自然保護関係法令					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	国立公園等自然公園					
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観や環境の保全に務め、活用を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		自然保護関係法令等の研修及び各関係機関との連絡調整				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	研修会出席	回	0	0	0	
	協議会等会費	円	20,000	20,000	20,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.164	0.132	80	0.072	55		
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100		
支出内訳	人件費	1,644,296	1,401,189	85	913,415	65		
	事業費	22,640	20,000	88	0	0		
	合計	1,666,936	1,421,189	85	913,415	64		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,666,936	1,421,189	85	913,415	64		
合計		1,666,936	1,421,189	85	913,415	64		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国立公園数						
指標説明(式)		相生市内の国立公園数 ※瀬戸内海国立公園						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		会費							
指標説明(式)		年度会費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0			
	実績	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	国立公園で環境学習を実施。また、清掃活動を行うなど公園の特性を活用しての活動ができた。	4
効率性	手段の最適性	関係機関と連携して活動することで、効率よく活動した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	瀬戸内海国立公園、県立自然公園の保全と活用を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	瀬戸内海国立公園にて環境学習を行う。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302010200	事業の種類	4
年度	2	事務事業名	リサイクル推進事業	予算事業名	リサイクル推進事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課
		施策名(中)	地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する	担当課長	宇久勝志
		取組み事項	廃棄物資源の再資源化を推進する	実施計画への記載	無
				担当者名	横山正俊
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	資源ごみ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	リサイクルの実践活動による環境意識の向上や剪定材を再資源化し、リサイクルを推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		資源ごみ集団回収奨励金制度の運用、剪定材再資源化処理業務委託			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	剪定材売却量	kg	83,200	65,220	63,540

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.276	0.280	101	0.288	103		
	臨時職員	0.056	0.060	107	0.060	100		
支出内訳	人件費	2,576,588	2,596,909	101	2,485,844	96		
	事業費	2,695,394	2,341,434	87	2,148,956	92		
	合計	5,271,982	4,938,343	94	4,634,800	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	5,271,982	4,938,343	94	4,634,800	94		
	合計	5,271,982	4,938,343	94	4,634,800	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資源ごみ集団回収の回収割合						
指標説明(式)		$\text{集団回収量} \div \text{市全体の回収量} \times 100$ (H23:347,430/1,128,530) (H24:343,626/1,069,496) (H25:303,885/1,000,205)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	25	25	100.0	25	100.0		80.0
	実績	24	24	100.0	18	75.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集団回収によりリサイクル率の向上につながる。	4
効率性	手段の最適性	老人会や子供会の資金源になっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	紙類の単価下落。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	紙類の単価が下落し、集団回収量が減少している。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302030100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	環境施策関連事業		予算事業名	環境施策関連事業		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
		施策名(中)	地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	大角潤矢
		取組み事項	地球環境問題に対する啓発と環境学習を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律(環境教育等促進法)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	特に小学生児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾の自然に触れ、自然の大切さ、ふるさとに愛着を感じる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校高学年児童を対象に、相生湾や播磨灘の身近な海の自然環境を守り育てる活動として里海づくりを行い、故郷の海について体験型の学習を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	里海体験学習参加人数	人(延べ)	860	501	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.436	0.380	87	0.364	96	
	臨時職員	0.052	0.052	100	0.052	100	
支出内訳	人件費	3,754,952	3,315,509	88	2,978,342	90	
	事業費	1,079,804	969,453	90	29,710	3	
	合計	4,834,756	4,284,962	89	3,008,052	70	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	4,834,756	4,284,962	89	3,008,052	70	
合計	4,834,756	4,284,962	89	3,008,052	70		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		里海体験学習参加人数						
指標説明(式)		里海体験学習参加人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	800	1,000	125.0	1,000	100.0	100.0	
	実績	860	501	58.3	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		参加者割合							
指標説明(式)		事業費(委託料) ÷ 参加者数 (参加者1人当たりのコスト)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1,000	900	90.0	900	100.0			
	実績	1,162	1796	154.6	0	0.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	学習の講師、指導者として専門家、市民団体の協力を得て行っており、より質の高い活動となっている。	4
	市民サービス	普段相生の海に触れたことがない子供やその保護者も参加しており、相生の事を知るとい意味においても有効である。	
効率性	手段の最適性	年間スケジュールを決め、参加者もクラブ員として固定することで効率よく展開出来ている。	4
	執行体制の効率性	学習会の実施については、参加している市民団体が、それぞれの得意分野でメインとなって行い、他の団体はサポートにまわり活動している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

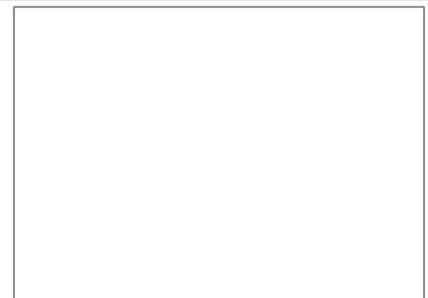
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業を休止としたが、対策を講じながら事業を行う方法を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	海に特化した環境学習を行うことにより、地域の自然環境を学び、そこから幅広く環境問題に取り組む子どもを育てる。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010200		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	ごみ箱等設置補助事業		予算事業名	ごみ箱等設置補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		ごみ箱等設置費助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自治会等地域団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ箱等の設置に対して、設置事業費の3分の1(上限7万円)を助成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	設置助成件数	件	7	4	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	600,044	602,029	100	582,502	97	
	事業費	292,000	114,000	39	196,000	172	
	合計	892,044	716,029	80	778,502	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	892,044	716,029	80	778,502	109	
合計	892,044	716,029	80	778,502	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ箱設置補助金						
指標説明(式)		ごみ箱設置事業費×1/3=助成費(上限70,000円)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
円	目標	350,000	350,000	100.0	350,000	100.0	100.0	
	実績	214,000	113,000	52.8	196,000	173.5		
指標名2		ごみネット設置補助金						
指標説明(式)		ごみネット購入費×1/3						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	0	0	-	0	-		
	実績	8,000	1,000	12.5	0	0.0		

【効率性】

指標名1		ごみ箱設置費用(平均)							
指標説明(式)		事業費×3÷助成件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	210,000	210,000	100.0	210,000	100.0			
	実績	292,000	85,500	29.3	117,600	137.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションの維持管理等地域の環境美化につながっている。	3
効率性	負担割合の適正化	ごみ箱設置助成に対する負担割合を見直したことにより、経費の節減となった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	歩道、道路上に設置する場合、法令等の関係で設置許可がでない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行う。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010300		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	近畿自然歩道事業		予算事業名	近畿自然歩道事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名 坪田泰典
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県立自然公園条例等の規定					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	近畿自然歩道					
	意図(どのような状態にしたいのか)	歩道の適正な維持管理に努め、通行者が快適に利用し自然公園を満喫する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		近畿自然歩道の除草、清掃等維持管理を委託する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	管理委託料	円	352,500	309,000	302,500	
	県補助金(トイレ管理費)	円	206,000	206,000	206,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.092	0.100	109	0.088	88		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,053,668	1,113,709	106	966,680	87		
	事業費	352,500	302,500	86	302,500	100		
	合計	1,406,168	1,416,209	101	1,269,180	90		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,406,168	1,416,209	101	1,269,180	90		
合計	1,406,168	1,416,209	101	1,269,180	90			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		管理委託						
指標説明(式)		除草面積						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
m ²	目標	3,580	3,090	86.3	3,090	100.0		100.0
	実績	3,580	3,090	86.3	3,090	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		除草1㎡に係るコスト							
指標説明(式)		委託料÷除草面積							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0			
	実績	42.6	42.6	100.0	31.2	73.2			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	良好な維持管理・保全に努め、利用者の便利、普及に努めた。	3
効率性	手段の最適性	各自治会への委託業務であり、地元管理で手段としては最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	台風、大雨などにより通行出来ない区間が多々ある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	事業主体である兵庫県と協議をし、一時閉鎖とした箇所がある。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010400		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	清掃総務費事務経費		予算事業名	清掃総務費事務経費	優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	清掃業務					
	意図(どのような状態にしたいのか)	廃棄物処理等清掃業務の円滑な推進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県等都市清掃事務協議会による情報の交換を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	県都市清掃会議への出席	回	4	4	4	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			一般会計		事業費単位:円		
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.388	0.432	111	0.432	100			
	臨時職員	0.172	0.172	100	0.172	100			
支出内訳	人件費	3,730,400	4,005,789	107	3,769,029	94			
	事業費	678,213	754,066	111	601,767	80			
	合計	4,408,613	4,759,855	108	4,370,796	92			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	4,408,613	4,759,855	108	4,370,796	92			
合計	4,408,613	4,759,855	108	4,370,796	92				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県都市清掃会議への出席回数						
指標説明(式)		県都市清掃会議への出席回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	100.0	
	実績	4	4	100.0	0	0.0		
指標名2		保衛連への出席回数						
指標説明(式)		保衛連への出席回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	-	-	-	-	-		
	実績	-	-	-	-	-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	県都市清掃事務協議会については、内容も充実しており、担当者同士の交流も図れ、意義のある会議となっている。	
効率性	コストの節減	保健衛生組織連合会においては、内容を含め参加について検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010600		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	塵芥処理費事務経費		予算事業名	塵芥処理費事務経費 優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	ごみを排出する市民					
	誰(何)を対象として	ごみを排出する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	指定する分別により指定された日にごみを排出する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみの収集日をお知らせする市民カレンダーを作成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	市民カレンダーの発行	部	14,900	15,000	15,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.484	0.464	96	0.464	100	
	臨時職員	0.036	0.036	100	0.036	100	
支出内訳	人件費	4,067,480	3,895,469	96	3,611,298	93	
	事業費	1,574,328	1,669,671	106	1,664,623	100	
	合計	5,641,808	5,565,140	99	5,275,921	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	5,641,808	5,565,140	99	5,275,921	95	
合計	5,641,808	5,565,140	99	5,275,921	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民カレンダーの発行						
指標説明(式)		市民カレンダーの発行部数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
部	目標	15,000	15,000	100.0	15,000	100.0	15,000	100.0
	実績	14,900	14,900	100.0	15,000	100.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		市民カレンダーの発行費用							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行費用							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1126937	1,103,375	97.9	1,000,000	90.6	1,000,000	100.0	
	実績	984,830	1,002,315	101.8	981,585	97.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内を4地区に分けた収集に合せたカレンダーを作成し、配付した。	
効率性	コストの節減	紙面の内容を工夫することで、他課の補助を有効に活用し、コスト削減に努めた。	
	手段の最適性	日々確認するカレンダーを基本とし、また、紙面として配付することにより、ごみの排出日を確認することができ、誤った排出を防ぐための最善の方法である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010700		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	塵芥収集事業		予算事業名	塵芥収集事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典	
取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	廃棄物収集運搬・処理事業						
根拠法規及び関連法規	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	家庭系塵芥					
	意図(どのような状態にしたいのか)	分別収集をすることにより、ごみの減量化、資源化を図れ、ごみ減量の実践と環境意識を高め、環境保全・環境美化・住みよいまちとなる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	地域の生活環境を保全するため、ごみステーションの適正化を図るとともに、分別排出されたごみを適正かつ効率的に収集する。また、ペットボトル・容器包装プラスチック・食品トレイ等の拠点回収を委託する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	可燃ごみ収集量	t	4,429	4,319	4,314	
	資源ごみ収集量	t	893	850	835	
	粗大ごみ収集量	t	241	186	251	
	不燃ごみ収集量	t				

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	13.004	13.044	100	13.044	100		
	臨時職員	6.888	6.748	98	6.748	100		
支出内訳	人件費	116,114,348	113,977,269	98	107,254,215	94		
	事業費	45,628,544	38,407,410	84	42,981,648	112		
	合計	161,742,892	152,384,679	94	150,235,863	99		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	161,742,892	152,384,679	94	150,235,863	99		
	合計	161,742,892	152,384,679	94	150,235,863	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	特別収集							
指標説明(式)	自治会等が行う地区清掃によるごみの収集(件数)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	110	120	109.1	120	100.0	100.0	
	実績	124	109	87.9	88	80.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		人口1人当たりの経費							
指標説明(式)		収集経費÷人口							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4,500	4,500	100.0	4,500	100.0			
	実績	3,936	4,195	106.6	5,244	125.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションに番号を付けることにより、地域の美化及び自治会等ステーション管理者による保全管理と適正な分別の徹底が図れた。	4
効率性	コストの節減	職員定数を確保し、収集業務の一部民間委託を実施している。収集コースの見直しを行い、効率化を図りコスト削減に努めた。(収集車の燃料費、消耗品費等の経費削減)	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	5

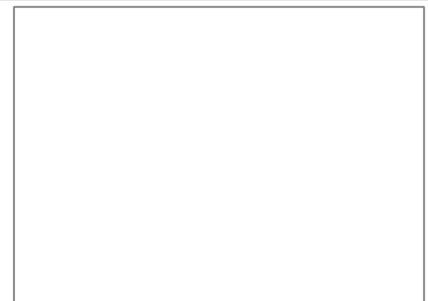
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	一部、未だ分別されずごみ出しが行われている。普及啓発を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	チラシを作成し、全戸配布した。



配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010800	事業の種類	1
年度	2	事務事業名	美化センター管理運営事業	予算事業名	美化センター管理運営事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		美化センター焼却炉等更新工事		廃棄物焼却処理事業	
		相生市美化センター更新事業			
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	美化センター施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ焼却施設の維持管理に努め、分別収集によるごみ減量、資源化の促進を図ることにより、安全で安定したゴミ処理施設とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ焼却施設の維持管理を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	焼却稼働日数	日	245	245	248
	搬入量	t	9,981	9803	9,702
	焼却量	t	8,342	8,222	8,172

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	1.416	1.452	103	1.452	100		
	臨時職員	0.484	0.764	158	0.764	100		
支出内訳	人件費	12,236,480	13,053,189	107	12,304,045	94		
	事業費	209,051,678	227,523,256	109	253,653,135	111		
	合計	221,288,158	240,576,445	109	265,957,180	111		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	221,288,158	240,576,445	109	265,957,180	111		
合計	221,288,158	240,576,445	109	265,957,180	111			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民1人が1日に出すごみ量						
指標説明(式)		家庭ごみ量(収集)÷365日÷人口						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
g	目標	600	600	100.0	600	100.0	100.0	
	実績	517	509	98.5	516	101.4		
指標名2		事業系ごみ						
指標説明(式)		排出ごみ量						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
kg	目標	3,100	3,100	100.0	3,100	100.0		
	実績	3,105	3,152	101.5	3,095	98.2		

【効率性】

指標名1		家庭系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		家庭系ごみ処理費÷家庭系総ごみ量							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	64.0	64.0	100.0	64.0	100.0			
	実績	64.3	64.1	99.7	65.9	102.8			
指標名2		事業系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		事業系ごみ処理費÷事業系総ごみ量							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	43.0	43.0	100.0	43.0	100.0			
	実績	43.5	43.3	99.5	31.4	72.5			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民生活に欠かせない事業として貢献している。	5
効率性	コストの節減	施設の維持管理等、収集計画、処理計画をたて、適正な管理運営を図り経費削減に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	草・剪定ごみの搬入が多く、そこに金属系が混ざっており運転を止めることがある。分別の徹底を図り、事業系ごみについては展開検査を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	出来るだけ、延命工事等の平準化を図っている。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010900	事業の種類	1
年度	2	事務事業名	最終処分場管理運営事業	予算事業名	最終処分場管理運営事業
		最終処分場管理運営事業		優先度	3
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する	担当課長	宇久勝志
				担当者名	坪田泰典
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する	実施計画への記載	
				主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	最終処分場			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみの減量・減容化に努め、最終処分場の延命を図ると共に長寿命化に対応する適正管理に努める			

2 事業の概要 Do

実施の概要		不燃ごみの埋立てのための施設の維持管理を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	埋立処理場	t	765	780	784

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.360	0.380	106	0.380	100		
	臨時職員	0.156	0.188	121	0.188	100		
支出内訳	人件費	3,477,944	3,662,309	105	3,461,033	95		
	事業費	8,324,781	3,836,082	46	2,147,530	56		
	合計	11,802,725	7,498,391	64	5,608,563	75		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	11,802,725	7,498,391	64	5,608,563	75		
合計	11,802,725	7,498,391	64	5,608,563	75			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		最終処分場残容量率						
指標説明(式)		1-埋立量÷全体容量(86,000m ³)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	35	34	97.1	34	100.0		97.1
	実績	35	34	97.1	33	97.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		維持管理経費(財源内訳)÷埋立量(t)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	13,646	8,828	64.7	2,315	26.2			
	実績	15,428	4,918	31.9	2,739	55.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民から排出された不燃ごみを再度分別し、埋立量を減らし最終処分場の延命化を図った。	4
効率性	コストの節減	分別の徹底、施設の日々点検等によりコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安易な埋め立て処分を行わない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	埋立について更に減量を図り延命化に努める。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011000		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	粗大ごみ処理事業		予算事業名	粗大ごみ処理事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名 坪田泰典
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	粗大ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	粗大ごみと資源ごみを適正に分別し、効率的な収集と適正処理に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		粗大ごみの中間処理を委託する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	粗大ごみ処理量	t	321	250	251	
	拠点回収量	t	194	185	188	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.632	0.688	109	0.716	104	
	臨時職員	0.340	0.356	105	0.356	100	
支出内訳	人件費	6,009,488	6,366,829	106	6,198,212	97	
	事業費	13,215,681	6,835,479	52	5,035,338	74	
	合計	19,225,169	13,202,308	69	11,233,550	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	19,225,169	13,202,308	69	11,233,550	85	
合計	19,225,169	13,202,308	69	11,233,550	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中間処理経費						
指標説明(式)		中間処理委託料						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	12,706,200	16,814,360	132.3	9,876,000	58.7	100.0	
	実績	12,207,156	5,278,766	43.2	3,755,950	71.2		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		粗大ごみ1kgあたりの処理料							
指標説明(式)		委託料÷処理量							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	40.0	40.0	100.0	40	100.0			
	実績	38.0	21.1	55.5	14.9	70.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	各量販店、公民館等に設置している分別ケースによる拠点回収は、市民サービスに多大な貢献をしている。	4
効率性	コストの節減	ごみの分別の徹底、また、職員による粗大ごみの再分別により、処理経費のコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	不燃粗大ごみの処理委託先について見積合わせの上、経費節減を図りたい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	分別収集により引き続きコスト削減に努める。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	ごみ有料化事業		予算事業名	ごみ有料化事業		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則並びに相生市指定ごみ袋等取扱要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	家庭系ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ袋の有料化による、ごみ量の削減とリサイクルの推進						

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定ごみ袋・シール券の作成及び販売店への手数料の支払い事業を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	ごみ袋出荷枚数(大)	枚	278,400	278,400	281,400
	ごみ袋出荷枚数(中)	枚	495,600	513,800	420,700
	ごみ袋出荷枚数(小)	枚	264,000	275,000	276,000
	シール券出荷枚数	枚	45,180	38,860	37,179

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.212	0.172	81	0.172	100		
	臨時職員	0.092	0.092	100	0.092	100		
支出内訳	人件費	2,200,496	1,880,389	85	1,788,611	95		
	事業費	21,628,951	22,497,076	104	21,330,295	95		
	合計	23,829,447	24,377,465	102	23,118,906	95		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	23,829,447	24,377,465	102	23,118,906	95		
	合計	23,829,447	24,377,465	102	23,118,906	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ袋購入経費						
指標説明(式)		ごみ袋作成費、配達・保管等維持管理料及び集計事務含む						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
円	目標	20,487,276	19,920,708	97.2	19,642,000	98.6	100.0	
	実績	18,269,949	19,218,286	105.2	17,200,678	89.5		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		ごみ袋1枚あたりの経費(大・中・小平均)							
指標説明(式)		ごみ袋購入代金÷購入枚数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	16.7	16.7	100.0	16.9	101.2			
	実績	16.6	16.7	100.6	17.6	105.4			
指標名2		ごみ処理費負担率(売上高÷ごみ収集処理経費)							
指標説明(式)		収益(売上高)÷家庭系(収集・中間・処理)経費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	9.5	9.0	94.7	9.0	100.0			
	実績	8.1	8.4	103.7	8.3	98.8			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内60か所以上の店舗で、ごみ袋等の販売を行い、市民が購入しやすいようサービスを行っている。	4
効率性	コストの節減	ごみ袋の適正管理に努め、無駄な在庫がないようにし、コスト削減を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	在庫管理の徹底を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	引き続き在庫管理の徹底を行う。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	予算事業名	リサイクルセンター管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		リサイクルセンター・最終処分場長寿命化事業					
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	資源ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正なごみの分別により、リサイクルを推進する。また、リサイクルセンターの長寿命化に対応する計画的な修繕を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		資源ごみの中間処理を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	資源ごみ搬入量	t	1,212	1,233	1,097	
	リサイクル量	t	1,277	1,322	1,282	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	1.428	1.428	100	1.448	101	
	臨時職員	2.380	3.212	135	3.212	100	
支出内訳	人件費	17,575,712	19,118,229	109	19,015,646	99	
	事業費	12,603,180	16,914,503	134	12,499,432	74	
	合計	30,178,892	36,032,732	119	31,515,078	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	30,178,892	36,032,732	119	31,515,078	87	
合計	30,178,892	36,032,732	119	31,515,078	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		リサイクル率						
指標説明(式)		資源化量÷総処理量						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0		
指標名2		量販店・公民館等による拠点回収						
指標説明(式)		回収量						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
t	目標	200	200	100.0	200	100.0		
	実績	194	185	95.4	199	107.6		

【効率性】

指標名1		資源ごみ1kgに係る処理経費							
指標説明(式)		処理費÷資源ごみ搬入量(t)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	20	20	100.0	20	100.0			
	実績	24.9	34.1	136.9	28.7	84.2			
指標名2		新聞売却							
指標説明(式)		新聞売却単価(税抜き)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	23	18	78.3	20	111.1			
	実績	18	20	111.1	4.8	24.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	資源ごみの回収は月1回のため、量販店等による資源ごみ回収拠点の整備を図り、また、市役所にも資源ごみ回収拠点を設置し、市民サービスの向上に努めている。	4
効率性	コストの節減	事業系ごみ分別の徹底を図りコスト削減に努める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画的に進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	近年、資源物の販売単価が社会情勢によって下落する傾向にある。新たな販路や、逆有償になった場合の処理方法などを検討しておく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	社会情勢や、市場価格などについて、事業者と情報交換を行いながら情勢を見極める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011300		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	環境クリーン事業		予算事業名	環境クリーン事業		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	投棄ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、河川、公園等に不法投棄された廃棄物の回収処理により、ごみのないきれいなまちづくりに努める。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		不法投棄の対策として、また、環境美化への啓発として、不法投棄パトロールの実施及び不法投棄物の回収業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	不法投棄による廃棄物処理	kg	6,047	4,790	3,030	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.224	0.224	100	0.216	96		
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100		
支出内訳	人件費	2,057,108	2,050,469	100	1,855,262	90		
	事業費	2,809,728	2,942,508	105	2,995,080	102		
	合計	4,866,836	4,992,977	103	4,850,342	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,866,836	4,992,977	103	4,850,342	97		
合計	4,866,836	4,992,977	103	4,850,342	97			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境クリーン委託経費						
指標説明(式)		環境クリーン委託経費						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	2,809,728	2,943,000	104.7	2,995,080	101.8		100.0
	実績	2,809,728	2,942,508	104.7	2,995,080	101.8		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		処理量1kgあたりの経費							
指標説明(式)		環境クリーン業務委託料÷処理量(不法投棄処理分)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	432	490	113.4	500	102.0			
	実績	464	614	132.3	988	160.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市内の環境美化が図られている。	4
効率性	手段の最適性	市内パトロールにより市内の環境美化の啓発と処理について最適な手段である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	周回ルートや業務内容の見直しを行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	引き続き最適な手法を研究する。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303020100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	し尿収集事業		予算事業名	し尿収集事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊	
取組み事項	し尿の適正な処理をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	衛生環境					
	意図(どのような状態にしたいのか)	安定したし尿収集により地域の衛生環境の保全を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		し尿収集事業				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	し尿収集量	kl	324	330	306	
	取扱店	件	4	4	4	
	売りさばき手数料	%	3	3	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	2.156	2.104	98	2.104	100		
	臨時職員	0.072	0.080	111	0.080	100		
支出内訳	人件費	16,596,812	16,127,269	97	14,835,218	92		
	事業費	712,183	809,911	114	1,050,523	130		
	合計	17,308,995	16,937,180	98	15,885,741	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	17,308,995	16,937,180	98	15,885,741	94		
合計	17,308,995	16,937,180	98	15,885,741	94			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		全世帯に対するし尿収集世帯の割合						
指標説明(式)		収集世帯数 ÷ 全世帯数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	1.5	1.5	100.0	1.5	100.0	100.0	
	実績	1.5	1.5	100.0	1.5	100.0		
指標名2		販売店によるし尿券の取扱い						
指標説明(式)		取扱枚数(単位:1000円券、100L)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
枚	目標	200	200	100.0	200	100.0		
	実績	208	301	144.7	65	21.6		

【効率性】

指標名1		1戸当たりの収集経費							
指標説明(式)		経費÷収集戸数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	85,000	80,000	94.1	80,000	100.0			
	実績	83,216	81,331	97.7	76,008	93.5			
指標名2		経費と収益の割合							
指標説明(式)		し尿処理経費÷し尿に係る収益							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	300	300	100.0	300	100.0			
	実績	314	284	90.4	291	102.5			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	し尿収集は、水洗化を図りずらい世帯の受け皿であり、市民生活に重要な貢献をしている。	4
効率性	コストの節減	水洗化の普及に伴い収集量は減少しているが、収集計画を立てながらコスト削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

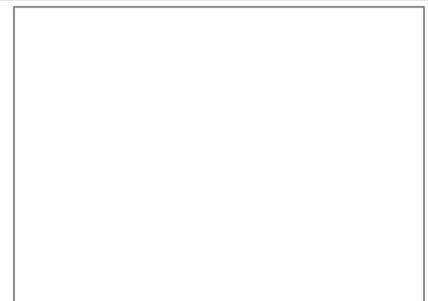
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	汲み取りについては、高節省や老朽家屋などが原因で下水化出来ていない世帯が多いが、汲み取りに対する経費などに配慮しながら手数料改定について検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	効果的な収集計画を立てながら、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040100		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業		予算事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	大気汚染					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自動車排ガスの削減等大気環境の改善をはかり住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		大気環境監視局測定管理委託				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	大気環境監視委託	円	1,620,000	1,760,000	1,760,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.092	0.092	100	0.092	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,053,668	1,054,589	100	993,760	94	
	事業費	2,037,167	2,174,216	107	2,173,109	100	
	合計	3,090,835	3,228,805	104	3,166,869	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	3,090,835	3,228,805	104	3,166,869	98	
合計	3,090,835	3,228,805	104	3,166,869	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ハイブリッド車、電気自動車の数						
指標説明(式)		公用車台数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
台	目標	4	4	100.0	4	100.0	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標説明(式)		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0			
	実績	95	91	95.8	91	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	環境影響調査等実施し、生活環境の改善に重要な貢献をしている。	4
効率性	負担割合の適正化	施設、機器の運営費は県からの委託金で賄えている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	兵庫県が設置している設備の維持について、専門性が求められるような故障につながる場合がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	兵庫県や維持管理業者と協力して対応に取り組む。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	水質汚濁調査運営事業		予算事業名	水質汚濁調査運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	水質汚染					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の河川及び相生湾等の水質測定を実施し、環境保全に努め住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内主要河川7地点及び相生湾の水質測定を実施。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	水質分析委託	円	1,745,280	1,628,000	1,738,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.124	0.156	126	0.156	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,291,556	1,527,549	118	1,427,040	93	
	事業費	2,174,180	1,641,000	75	1,751,000	107	
	合計	3,465,736	3,168,549	91	3,178,040	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	3,465,736	3,168,549	91	3,178,040	100	
合計	3,465,736	3,168,549	91	3,178,040	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質測定						
指標説明(式)		水質測定地点(河川、相生湾)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
地点	目標	10	9	90.0	9	100.0	100.0	
	実績	10	9	90.0	9	100.0		
指標名2		水質汚濁						
指標説明(式)		苦情件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		水質分析委託料							
指標説明(式)		水質分析委託料							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	1,600,000	1,926,000	120.4	1,738,000	90.2			
	実績	1,745,280	1,628,000	93.3	1,738,000	106.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	定点で季節ごとに水質環境の変化を常時監視することにより、環境の保全活動が行えている。	4
効率性	コストの節減	測定項目の確認及び委託業者と水質測定日等を細かく調整し、無駄のない対応をした。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

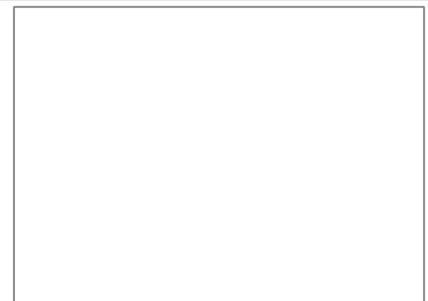
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾は閉鎖性海域であることから、海水の入れ替わりが難しく、河川の水質が改善しても海の水質改善につながらない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	河川や海域の定点観測、工場への立ち入り検査を行う。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040300	事業の種類	3
年度	2	事務事業名	公害行政推進事業	予算事業名	公害行政推進事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する	担当課長	宇久勝志
		取組み事項	環境汚染防止対策を推進する	実施計画への記載	担当者名 横山正俊
		実施計画事業名	PCB廃棄物処理事業		主要事業の指定
		根拠法規及び関連法規	相生市民の住みよい環境をまもる条例		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	公害行政			
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境保全活動の推進を図ることにより、市民が快適に生活できるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		環境保全審議会の運営、騒音振動監視事業、公害環境指導			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	環境監視員活動	件	68	68	0
	騒音・振動測定委託	円	1,725,840	1,265,000	1,320,000
	特定建設作業届	件	105	86	84

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.316	0.320	101	0.300	94		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,718,884	2,739,509	101	2,401,920	88		
	事業費	3,001,612	5,505,770	183	1,320,000	24		
	合計	5,720,496	8,245,279	144	3,721,920	45		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	5,720,496	8,245,279	144	3,721,920	45		
合計	5,720,496	8,245,279	144	3,721,920	45			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境保全事業						
指標説明(式)		苦情処理件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	70	70	100.0	70	100.0	100.0	
	実績	68	60	88.2	59	98.3		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		環境監視員1人あたりの活動報告件数							
指標説明(式)		活動報告件数÷環境監視員数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	7	7	100.0	0	0.0			
	実績	8	9	112.5	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公害苦情処理に対してもスピーディーな対応により処理している。	4
効率性	手段の最適性	公害に関する苦情については、ほぼ、住民から直接寄せられる。	4
	コストの節減	騒音測定業務について、長年同一個所で定点観測を行っているが、今後道路事情が変わらず、過去から騒音データも変わっていない個所について、見直しをかける。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	近隣トラブルと思われる苦情や、土日、祝日、夜間に対応を求められることがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	苦情対応について関係機関と協力して対応したい。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303050100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	畜犬登録事業		予算事業名	畜犬登録事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治	
取組み事項	動物愛護を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		狂犬病予防法、相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	畜犬					
	意図(どのような状態にしたいのか)	飼い犬の新規登録及び狂犬病予防注射の受診により犬のしつけ、マナー等の意識向上及び生活環境の健全化を図り住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		犬の登録、狂犬病予防注射の実施				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	登録件数	件	1,443	1,527	1,558	
	新規登録	件	93	121	149	
	狂犬病予防注射済	件	922	961	1,110	
	集合注射日数	日	4	4	4	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.124	0.116	94	0.112	97		
	臨時職員	0.176	0.176	100	0.176	100		
支出内訳	人件費	1,778,900	1,680,749	94	1,613,640	96		
	事業費	342,780	343,326	100	858,934	250		
	合計	2,121,680	2,024,075	95	2,472,574	122		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,121,680	2,024,075	95	2,472,574	122		
合計	2,121,680	2,024,075	95	2,472,574	122			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集合注射日程						
指標説明(式)		集合注射実施日						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	4	4	100.0	4	100.0	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0		
指標名2		集合注射受診の割合						
指標説明(式)		集合注射受診件数÷注射済件数×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	50	50	100.0	50	100.0		
	実績	26	23	88.5	24	104.3		

【効率性】

指標名1		注射受診割合							
指標説明(式)		注射受診件数÷登録件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
日	目標	65	65	100.0	65	100.0			
	実績	63.8	62.9	98.6	71.2	113.2			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公衆衛生上、犬の登録、狂犬病予防注射は必要である。	4
効率性	手段の最適性	集合注射は必要と考えるが、年々受診件数が減ってきている。実施のあり方を検討する必要がある。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	集合注射を午後から実施する日を設ける等、受診しやすい環境を整える。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	獣医師会と今後の在り方について協議を行うとともに、近隣市町の状況をみていく。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	葬儀事業		予算事業名	葬儀事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)	斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治	
取組み事項	斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自宅葬儀					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自宅等での葬儀において、利用者の利便性を高め、円滑な葬儀の運営を支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀に使用する消耗品の購入、保管及び祭壇等の運搬・撤収等を委託する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	棺の使用	本	97	110	84	
	祭壇の利用	件	3	1	0	
	葬儀祭壇等業務委託	円	349,745	293,040	279,118	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.208	0.240	115	0.244	102		
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100		
支出内訳	人件費	1,949,240	2,178,909	112	2,055,833	94		
	事業費	1,751,972	2,393,864	137	1,647,649	69		
	合計	3,701,212	4,572,773	124	3,703,482	81		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	3,701,212	4,572,773	124	3,703,482	81		
合計	3,701,212	4,572,773	124	3,703,482	81			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自宅等での葬儀の割合						
指標説明(式)		祭壇の使用件数÷葬儀件数(火葬件数)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	5	5	100.0	5	100.0	60.0	
	実績	0.6	0.2	33.3	0	0.0		
指標名2		霊柩車運転業務委託事業						
指標説明(式)		委託料						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	901,800	915,600	101.5	924,000	100.9		
	実績	491,400	458,200	93.2	368,500	80.4		

【効率性】

指標名1		霊柩車運転業務1件に係る経費							
指標説明(式)		霊柩業務経費÷件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0			
	実績	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	祭壇の運搬・撤収について、適正な対応に努める。	3
	成果目標(改善)達成度	利用者に対して適正な霊柩業務を行うことができた。	
効率性	コストの節減	祭壇の運搬・撤収について、効率的な運営を図りコスト削減に努めた。	5
	コストの節減	霊柩車の適正管理を図りコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

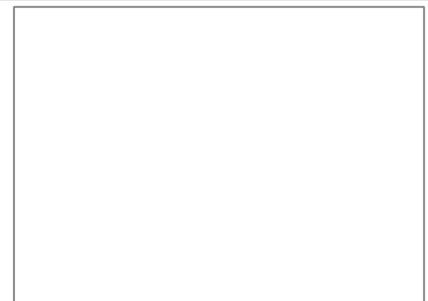
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	葬儀祭壇等の修繕を行いながら、老朽化している物については、更新を検討していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	備品の適正な管理に努める。



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010200		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	ささゆり苑管理運営事業		予算事業名	ささゆり苑管理運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ささゆり苑補修事業					
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	葬儀施設ささゆり苑					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ささゆり苑の管理運営の健全化を図り、使用者の利便性を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ささゆり苑の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	通夜・葬儀利用件数	件	150	134	109	
	火葬炉使用件数	件	443	442	467	
	動物炉使用件数	件	169	144	166	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.244	0.264	108	0.264	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	2,205,788	2,346,069	106	2,180,222	93	
	事業費	35,912,269	35,176,727	98	42,621,084	121	
	合計	38,118,057	37,522,796	98	44,801,306	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	38,118,057	37,522,796	98	44,801,306	119	
合計	38,118,057	37,522,796	98	44,801,306	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ささゆり苑利用率						
指標説明(式)		ささゆり苑葬儀場利用件数÷火葬件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	60.0	
	実績	33.8	30.3	89.6	23.3	76.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		事業費に対する使用料収入							
指標説明(式)		ささゆり苑管理運営事業費(人件費除く)÷使用料収入							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0			
	実績	46.8	45.3	96.8	40.9	90.3			
指標名2		ささゆり苑管理委託料							
指標説明(式)		ささゆり苑管理委託料							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	17,638,200	17,804,000	100.9	17,495,460	98.3			
	実績	17,278,164	17,252,814	99.9	17,452,050	101.2			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	施設の維持管理について、部分修繕等による延命化に努めるとともに、定期的な点検を実施し、利便性を維持しながら市民サービスに努めた。	5
効率性	負担割合の適正化	利用者の負担割合について、大規模な改修を除き、5割弱の受益者負担を得ており、適正である。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

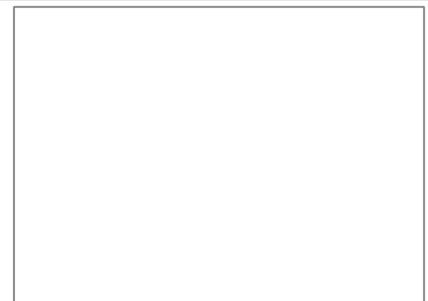
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市内に建設された民間葬儀場で葬儀を行う人が増えており、工夫しながら利用者を取り込む必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに対応可能か見極め、効率的な運営を図る。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010300		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	ささゆり苑使用許可事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	山田 道子	担当者名	三谷 真美
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例、相生市ささゆり苑に関する規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	ささゆり苑使用許可申請者					
	誰(何)を対象として	ささゆり苑使用許可申請者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	遺族の方が、葬儀施設としてスムーズにささゆり苑を利用していただけるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀施設・火葬場の使用許可を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	使用許可事務件数	件	438	441	467	
	市民のささゆり苑利用件数	件	392	390	405	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.356	0.346	97	0.356	103		
	臨時職員		0.010	-		0		
支出内訳	人件費	3,016,244	2,957,149	98	2,781,040	94		
	事業費			-		-		
	合計	3,016,244	2,957,149	98	2,781,040	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	3,016,244	2,957,149	98	2,781,040	94		
合計	3,016,244	2,957,149	98	2,781,040	94			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		使用許可書交付平均時間						
指標説明(式)		ささゆり苑使用許可申請から許可書を交付するまでの平均時間						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
分	目標	18	18	100.0	18	100.0	0.0	
	実績	18	18	100.0	18	100.0		
指標名2		ささゆり苑利用率						
指標説明(式)		ささゆり苑利用件数/市民の死亡件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	96	95	99.0	95	100.0		
	実績	95	96	101.1	96	100.0		

【効率性】

指標名1		1件あたりの許可書交付コスト							
指標説明(式)		総事業費/許可書交付件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	7125	7103	99.7	6844	96.4			
	実績	6886	6706	97.4	5955	88.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	条例・規則に基づき、ささゆり苑の使用許可を迅速・正確に行うことができた。	
効率性	コストの節減	前年度と比べて、1件当たりのコストは減少した。	4
	執行体制の効率性	ささゆり苑の使用許可申請は、市民課で受付を行い、閉庁時は宿直者が対応し、許可書を交付した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	正確・迅速に事務処理を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内研修を充実させ、事務の正確化・迅速化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304020100		事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	市営墓地維持管理事業		予算事業名	市営墓地使用料還付事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治	
取組み事項		墓地の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		合葬式墓地整備事業						
根拠法規及び関連法規		相生市営墓園条例、施行規則、相生市営墓地条例、施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市営墓園						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の墓地需要に対応し、市営墓地を適正に管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市営墓地の維持管理事業				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	貸付区画数	区画	2,429	2,351	2,355	
	古池墓地	区画	523	517	516	
	相生墓園	区画	1,088	1,043	1,046	
	東部墓園	区画	818	791	793	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.264	0.356	135	0.416	117		
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100		
支出内訳	人件費	2,354,468	3,025,949	129	3,209,262	106		
	事業費	15,164,463	24,548,067	162	14,233,440	58		
	合計	17,518,931	27,574,016	157	17,442,702	63		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	17,518,931	27,574,016	157	17,442,702	63		
合計	17,518,931	27,574,016	157	17,442,702	63			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		墓地貸付率						
指標説明(式)		墓地貸付件数÷全体区画数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		100.0
	実績	99	96	97.0	96	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1基あたりの維持管理経費							
指標説明(式)		支出額(支出(利子除かない)-還付金)÷貸付区画数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1,600	1,600	100.0	1,600	100.0			
	実績	1,587	1,885	118.8	2,463	130.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	墓地の新設、返還時に必ず現地確認を行い、設置基準等が守られているか確認し、適正管理に努めた。	5
効率性	手段の最適性	墓地使用料の還付割合を8割から5割に改め、墓地貸付率の改善に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	近年の社会情勢等から墓地の需要に変化が見られる中で、貸付数の増加に繋がったことは評価できる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	令和3年度も引き続き返還及び貸付までの管理を適正に行う。

配点	25
総合評価	20